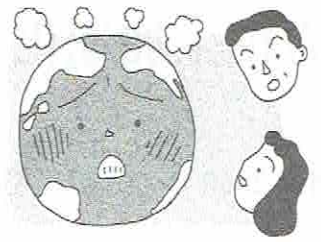


地球規模の課題 = 日本の課題 = 嵐山町の課題



- 2100年までの気温上昇を2度以下に
- 原発をストップ = 放射能汚染を広げない
- STOP 戦争・STOP 殺害 = 平和で持続的な地球

× 気候変動 = 世界レベルで大洪水の増加。作物のとれるところが変化。

米の特産地 新潟・山形 → 北海道、

CO₂は大気中にたまっていく → CO₂を排出しない産業構造に転換。

電気・エネルギー → 再生可能エネルギーに

× 政府のエネルギー計画には原子力発電・・・10万年後も危険

× 日本政府は原発推進 → 放射能被ばく被害を公表はしません。

- チェルノブイリ原発事故、2008年(25年経過)で80%の子どもの健康被害。
- 福島原発事故後5年・・・奇形、死産増、甲状腺がん罹患・疑いの子ども151人福島(県民健康調査2015/11/30)。

火山国の日本 = 原発即刻停止。 STOP 原発の海外輸出。

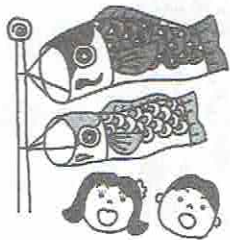
■ 産業構造の転換をまちづくりの基本に

地域でエネルギーと食料の自給を = 町は太陽光で発電所づくり・農業を元気に
エネルギー・食料・水の奪い合いから脱出 → 戦争回避へ → 文化と健康な生命を次世代に

一緒にやる人・この指 と一まれ。

夏休みや連休 = 給食がない → ごはんが食べられない子どもの増加 (新聞報道より)

嵐山町でも、小中学生で、生活保護・準要保護の子ども増加



■ 子ども祭りを数度、議会で町長に提案。

答弁 = 保護者や地域の力ができたら・・・の趣旨です。

毎年5月5日 大人と子どもが楽しめる
子ども祭り企画しましょう。

■ 「赤ちゃん学校応援団を」と議会で提案・・・

赤ちゃん学校応援団は、ママやパパが赤ちゃんを学校に連れていき小学生が赤ちゃんとおふれ合う体験をするボランティアです。
答弁 = やるのは意義がある。やる団体があれば応援したい。

若いママ、赤ちゃん学校応援団をつくりませんか。

■ 町は、国からの宿題「人口減少対策」「地域創生」「●●●●計画」△△△計画」づくりで手一杯。
財政力がない・人がいない・法令が・・・嵐山町を変える力を持っているのは議会です。
政府と町行政に一体となった議員が多く、政府の指示まちで、変革はカメさんペース。

私は、嵐山町でやりたい人でやれる活動を進めます。



渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町千手堂39-46 Tel / Fax 0493-62-7997
<http://space.tom-shibuya.com> e-mail shibuya97@s4.dion.ne.jp